

# 漁海況情報

沖縄県水産海洋技術センター  
901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528  
電話：098-852-4530・4531 F A X：098-852-4533

2022年(令和4年)7月 第596号

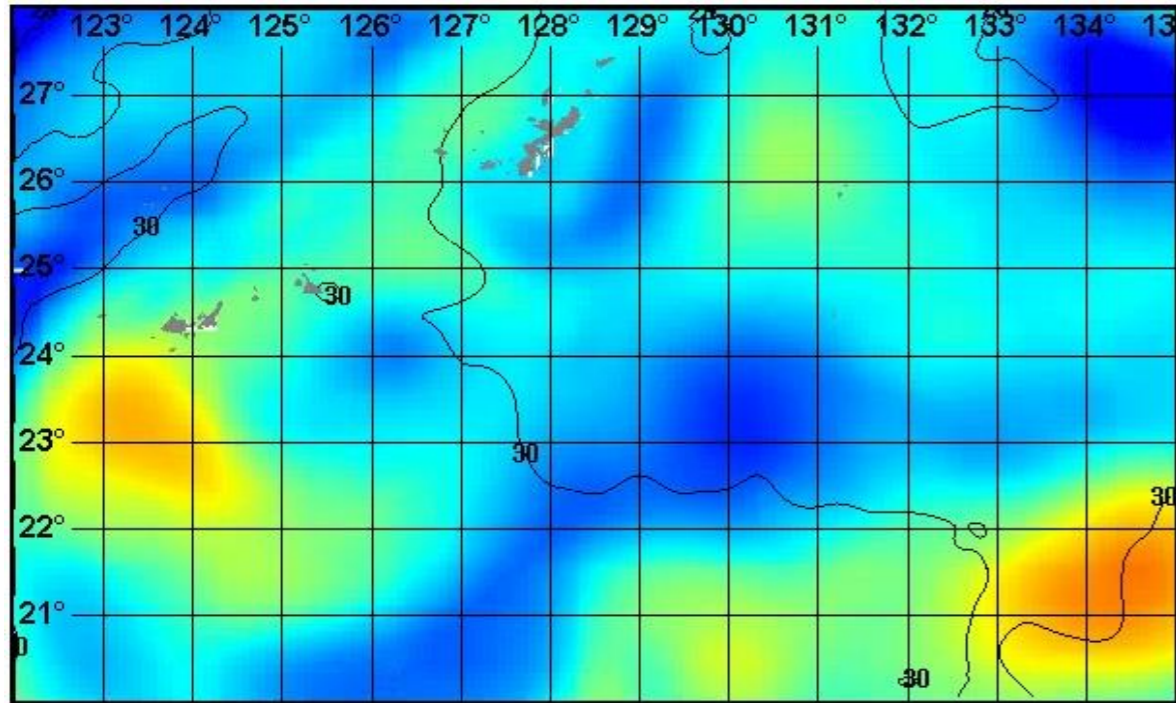
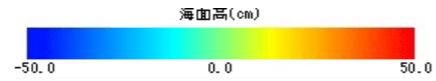


図1. 海況案内人による表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2022年7月31日)

海況案内人の最新情報は下記URLでご覧いただけます。  
URL:<http://www.pref.okinawa.jp/fish/>  
スマホ等からのアクセスは右のQRコードを利用してください。

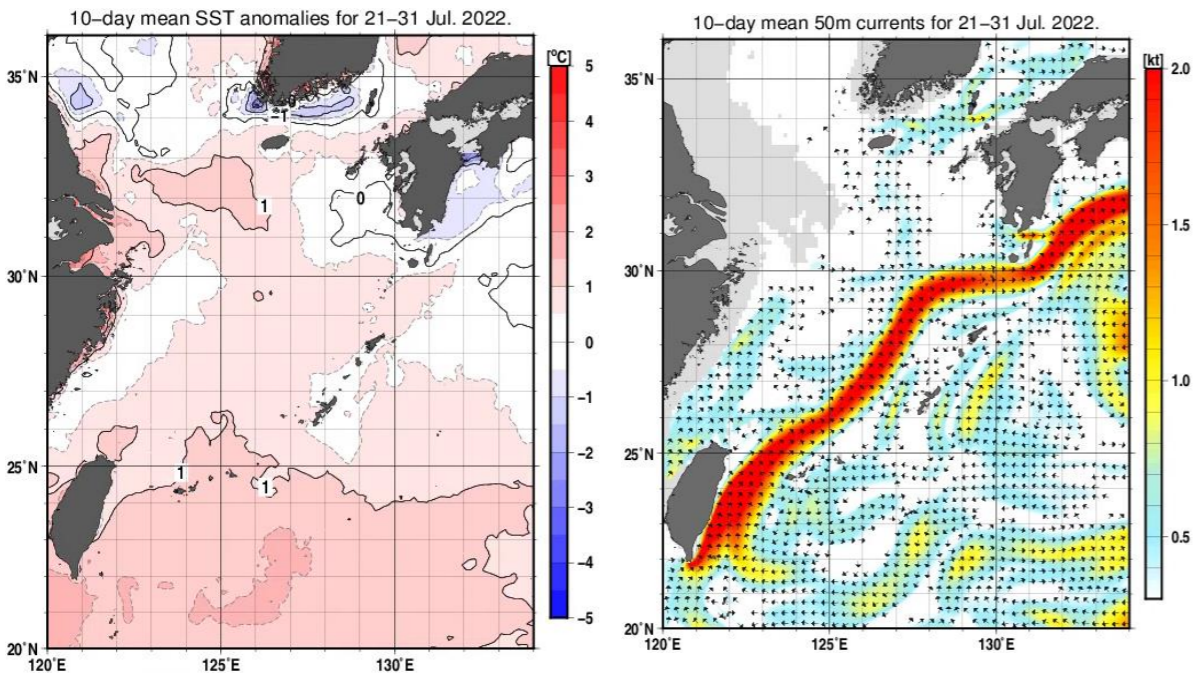


図2. 2022年7月下旬海面水温偏差図(左)及び海流図(気象庁HPより)

## 漁況

沖縄島南部海域ではキハダ、伊良部ではシビ、キハダ、カツオの水揚げが多かった。

表1. 7月のかつお・まぐろ等の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内総漁獲量
シイラ	0.1	0.0	0.1	0.1	0.3	0.0	1.4
カカジキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サワラ	0.6	0.1	0.3	0.1	1.2	0.0	6.5
カツオ	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	10.8	20.4
キハダ	46.8	5.1	7.4	2.2	61.5	11.2	269.2
シビ	0.7	4.0	0.3	1.7	6.6	11.4	28.0
メバチ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	48.5	9.2	8.1	4.1	69.9	33.4	325.6

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2. 6~11月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)

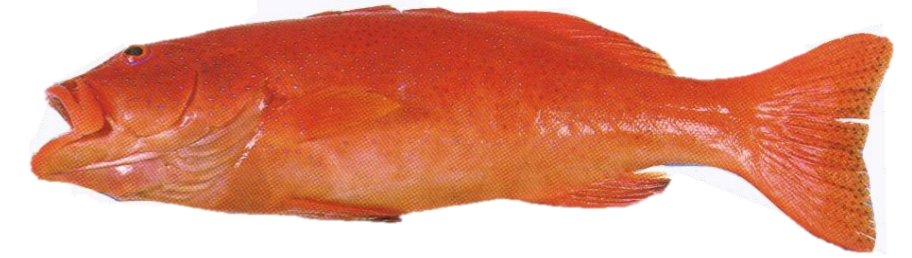
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)							
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	6-11月計
2018年	19.1	48.6	47.9	43.8	21.2	20.3	200.9
2019年	30.6	88.9	51.1	32.9	47.3	23.3	274.1
2020年	72.7	83.3	65.7	54.8	25.0	11.7	313.2
2021年	35.6	61.5	40.7	62.1	24.9	26.0	250.9
2022年	78.2	61.5					139.7

表3. 6~11月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)							
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	6-11月計
2018年	9.8	9.6	6.8	12.4	13.3	4.1	56.0
2019年	8.3	14.2	10.5	6.4	8.6	5.5	53.4
2020年	15.8	8.8	2.3	7.5	4.5	3.2	42.1
2021年	6.3	4.6	10.6	10.4	1.3	6.6	39.8
2022年	7.5	6.6					14.1

表4. 6~11月のシイラ漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)							
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	6-11月計
2018年	0.9	0.2	0.6	1.4	7.0	3.8	13.8
2019年	2.1	0.4	0.4	1.8	6.9	10.4	21.9
2020年	0.8	0.2	0.3	2.7	6.9	2.9	13.9
2021年	1.0	0.2	0.5	1.3	2.9	11.8	17.7
2022年	1.6	0.3					1.9



スジアラ(アカジン)

糸満ではキハダが46.8t、港川ではキハダが5.1t、シビが4.0t漁獲された。知念では、キハダが7.4t漁獲された。沖縄市ではキハダ2.2tとシビが1.7t漁獲された。また伊良部では、シビ11.4t、キハダ11.2t、カツオが10.8t漁獲された(表1)。

沖縄本島南部海域における過去5年間の6~11月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2~4に示した。更に過去4年間の1~12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

7月のキハダの漁獲量は61.5tで、6月(78.2t)に比べて16.7t減少、昨年(61.5t)と同量で推移した(表2、図3)。シビの漁獲量は6.6tで昨年(4.6t)と比べて2.0t増加した(表3)。シイラの漁獲量は0.3tで、昨年(0.2t)と比べて0.1t増加した(表4)。

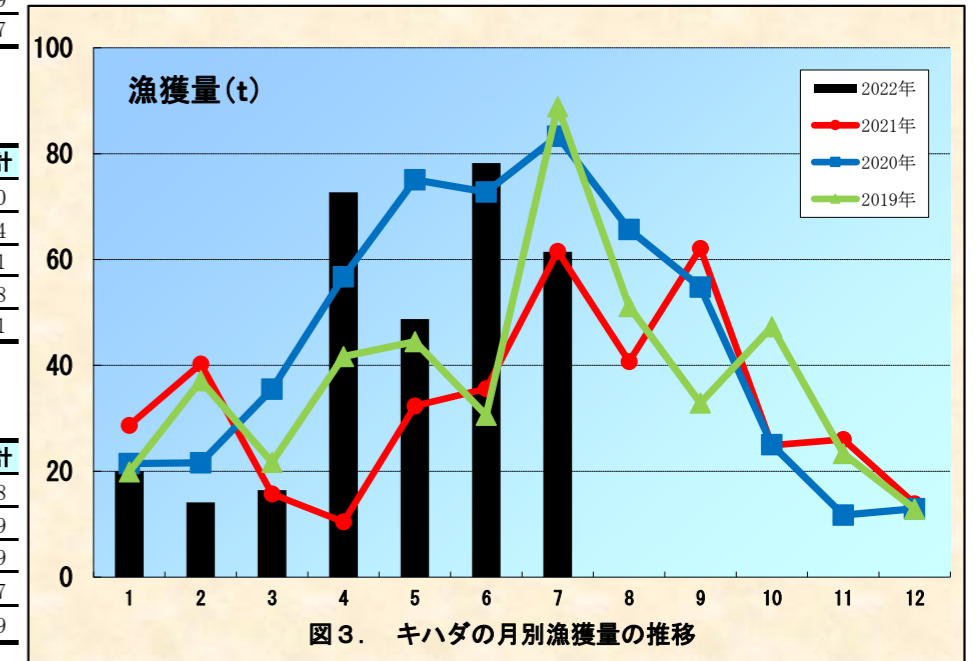


図3. キハダの月別漁獲量の推移

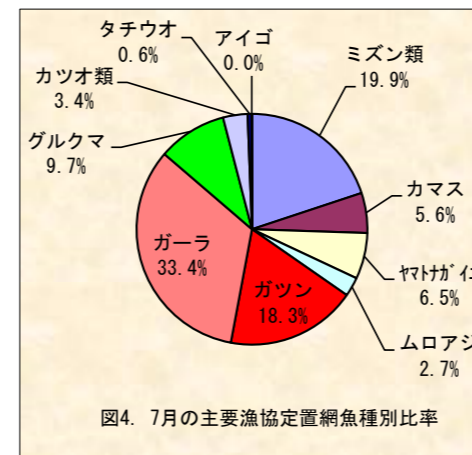


図4. 7月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網：7月の全体の漁獲状況は11,015.2kgで、先月(12,856.4kg)と比べて減少した。主要漁協の漁獲ではガーラとミズン、ガツンが全体の約7割を占めた(表5、図4)。

注記：統計数値は、小数点第二位以下を四捨五入したため、計と内訳が一致しない場合があります。

表5. 7月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置		合計	県内定置 総漁獲量
	読谷	知念	国頭	名護	与那城		
ミズン類	154.3	222.8	117.8	1,534.1	155.3	2,184.3	2,184.3
カマス	567.6	32.9	12.7	2.2	0.0	615.4	624.6
ヤマトガイ	56.6	612.3	15.4	22.9	1.2	708.4	708.4
ムロアジ	295.0	0.0	0.0	0.0	0.0	295.0	295.0
ガツン	1541.2	40.7	401.4	10.8	10.4	2,004.5	2,005.4
ガーラ	1779.6	888.6	961.5	28.7	0.7	3,659.1	3,678.7
グルクマ	660.6	117.1	267.2	15.5	0.0	1,060.4	1,063.7
カツオ類	309.0	38.3	13.2	0.0	16.3	376.8	376.8
タチウオ	0.0	61.1	0.0	0.0	0.0	61.1	61.4
アイゴ	0.0	0.0	0.0	0.3	5.0	5.3	16.9
合計	5,363.9	2,013.8	1,789.2	1,614.5	188.9	10,970.3	11,015.2

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。